

学校名	串本町立橋杭小学校
授業者	津田 和昭

1. 単元計画

2. 単元名

串本の郷土料理を知る・串本の魚を使って料理しよう

3. 学年

5・6年生

4. 教科（単元を実施する教科を全てお書きください）

社会科・家庭科

5. 単元の概要

「海を利用し、海を守る」という観点で授業を計画・実施
 自分たちの通っている小学校の目の前に広がる海岸で採れるひじきや串本町で採れた魚を使って料理することで、地域の特産物について知ったり、自分たちの住む町には多種多様な生き物がとれ、それが自分たちの食生活と密接なつながりがあることを学ぶ。また、それらの体験をまとめ発表することで、情報収集能やプレゼンテーション能力の向上にもつなげる。

体験的な活動

学校の前でひじき狩りを行う・食育と関連づけて魚を調理する

まとめる活動

体験して学んだことや、ヒジキに関する知識を増やすためにインターネット等を活用して調べまとめる

6. 単元設定の理由・ねらい

自分たちの町の特産物を知る。
 自分たちの食文化とも密接なつながりがあることに気付く。

7. 育みたい資質や能力、態度

体験したことをまとめたり発表したりする能力を育む
 地域の人から教わることで、地域との関係を密にし、学校だけでなく地域からも学ぶ態度を育む

8. 単元の展開（全15時間）

時数	学習活動・主な内容	教師の指導 / 主な評価 外部連携 / 使用教材等
1	<p>オリエンテーション</p> <p>主な活動内容</p> <p>自分たちの学校の目の前にある海岸で生き物採集をした際に、ヒジキが生えていることを知り、それが町の特産物の一つであることを知る。そして今後の活動の計画を立てる。</p>	<p>これまでの海洋教育を振り返らせ、さらに活動を深めるため前年度の活動に関連づけたテーマを子どもたちに与え、そこから自分たちで何を学ぶのかを考えさせる。</p> <p>（評価） これからの活動の流れをつかむことができたか</p>
4	<p>ヒジキの採集・乾燥</p> <p>主な活動内容</p> <p>学校前の海岸でヒジキを採集し、学校に持ち帰って天日干しをして乾燥させる。どうして乾燥させるのかを考える。</p>	<p>刈り方や活動の注意事項を説明する。</p> <p>大きいブルーシートを用意し、そこに採集したヒジキを広げ、乾燥させる。また、小さな生き物やゴミも混ざっているのなるべく取るよう指示する。</p> <p>〔連携〕 串本姫ひじき保存会</p>
2	<p>ヒジキについて調べる・まとめる</p> <p>主な活動内容</p> <p>インターネット等を活用して、ヒジキの生態や加工方法等についてそれぞれが課題を決めて調べて分かったことを画用紙にまとめる。</p>	<p>図書室にある本を紹介したり、やインターネットで自分たちの課題が解決できるよう声かけ等を行う。</p> <p>〈使用教材〉 パソコン（インターネット） ポプラディア等の百科事典・海の生き物図鑑</p> <p>（評価） 自分の課題に対する答えを見つけることができたか</p>
4	<p>ヒジキの加工・調理</p> <p>主な活動内容</p> <p>乾燥させたヒジキを釜で煮る。それを使って、ヒジキご飯を調理実習で行う。</p>	<p>釜に火をつける作業から昔ながらの方法で行うことで、生産者の努力や苦労について実感させる。</p> <p>調理の際に包丁等の使い方を確認する。</p> <p>〔連携〕 串本姫ひじき保存会</p> <p>（評価） 生産者の苦労に気付き、自分の生活に活かそうとしたか</p>
2	<p>活動のまとめ</p> <p>主な活動内容</p> <p>これまでのヒジキについての学習をまとめ、発表する。</p>	<p>児童を①採集 ②調べたこと ③加工・調理の3グループに分け、それぞれどういった形でまとめるかを考えさせ、グループごとにまとめさせる。</p> <p>（評価） みんなに分かるようにまとめたり、発表することができたか</p>
2	<p>串本の魚を使った調理実習</p> <p>主な活動内容</p> <p>地域の食育推進委員の人たちから地元の魚を使った料理を教わり、調理しおいしく食べる。</p>	<p>串本町食育推進委員の方と事前に打ち合わせを行い、そのときに用意できる魚によってメニューを臨機応変に対応できるよう調整する。</p> <p>児童と食育推進委員の人たちとがコミュニケーションを取りながら活動できるように声かけする。</p> <p>〔連携〕 串本町食育推進委員</p>

9. 学習活動の実際

実施した単元中のキーとなるような時間（導入の時間・主となる活動の時間・まとめの時間など）の学習内容をご記入ください。また、複数の時間についてご記入いただける場合には、この項目をコピーして複数記入していただいて構いません。

10. 単元における位置づけ

単元 時間中の 時間目

※例：単元 10 時間中の 2 時間目 / 単元 15 時間中の 4, 5 時間目

11. 本時の目標

本やインターネットを使ってヒジキのことについて調べまとめよう。

12. 本時の展開

主な学習活動 / 反応	■教師の指導・支援 / ● 評価の視点（方法）
<p>1. ヒジキのことについてもっと知りたいことを考えて発表する。</p> <p>2. 発表したものから、自分で課題として一つ設定し、本やインターネットを使って調べる。</p> <p>3. 調べて分かったことなどを画用紙にまとめる。</p> <p>4. まとめたことをみんなに発表する</p>	<p>■ヒジキの収穫時期、種類、植生、料理等々いろんなことを考えさせることで、ヒジキのことを多面的にとらえ、知識を深められるように支援する。</p> <p>■考えが浮かばなかったり、困っている児童には、「いつ採れる？」といった具体的な例を出して、考えさせる。</p> <p>■調べ方等で悩んでいる児童には、本を薦めたり、インターネットのサイトを紹介してやる。</p> <p>●自分の課題（知りたいこと）の答えを見つけることができた（まとめた成果物）</p> <p>■自分はなぜそれを調べたのか理由や、どうやって調べたかも加えて発表させる。</p>

13. 今回の活動の自己評価

この学習を通して、児童は自分達の町の特産物について興味を抱いたり、知識を増やすことができた。また、自分達で調べ、採集し、加工する課程で、生産者の大変さにも気づき、ヒジキが苦手でもこれまであまり食べたことがなかった児童も、頑張って食べることができた。地域の人（姫ひじき保存会・食育推進委員会）たちに教わることで、児童はより深い学びにつなげることができた。

14. 今後の課題

今回の学習では一連の流れを自分達でやってみることで大変さにも気付けたので、今度は「昔から続いてきた伝統産業をこの先に継承していくためにどうしたらよいか」という一番の課題に気付かせるための手立てが必要である。四年生の社会科で「産業」について学んだことを思い出させたりして、今回の学習をつなげていきたい。

15. 本学習内容報告書活用にあたっての留意点

※実施した單元ごとに作成してください。

※写真、画像、図表等の使用可。必要に応じて記入欄やページ数を増やしても構いません。

※基本レイアウト

フォント：MS 明朝、10.5 ポイント / マージン：上下端 20mm、左右端 16mm

※ファイル名は「学習内容報告書_学校名」とし、複数提出する場合は学校名の後に数字を記載してください。

例：学習内容報告書_海洋市立パイオニア小学校 1

※年間指導計画（年間の指導計画における単元の位置づけが分かる資料）があれば別添資料として提出してください。フォーマットの指定はありません。